

すいしんいんセッション

～ 推進員同士で本音で語ろう！知恵と工夫を寄せあおう！ ～

< 推進員仲間とつながり、一緒に悩み、一緒に一歩！ >

発表者（池原さん）への質問

質問：

認知症カフェを開催していますが、なかなか参加者が増えません。認知症の方の参加はあまりありません。テーブルの配置も変えられません。今後何を目的にどんなことをしていけばよいのでしょうか？

回答：

認知症カフェの参加者数や認知症の方の参加があるかどうか、気になると思います。過去、参加者が増えないことや認知症の方の参加があまりなかったこともありましたが、継続していくことで認知症の診断を受けたり、認知症への不安がある方が参加されたとき、「今後は来たくないな」という想いをされないように参加者の想いを聴いたり、スタッフとも内容を検討していました。地域で開催されているサロンとの違いを意識することが大切で、認知症カフェであることを念頭においておくといいかもしれません。

認知症カフェの周知啓発として包括のたよりに掲載したり、金融機関等へお願いしてポスター掲示等も行っています。また、福山市では福山市認知症ナビへ掲載や市内の各認知症カフェの紹介冊子を作成、配布する等広域への周知も行っています。

質問：

ひまわりクラブはサロンの立ち位置ですか？ ひまわり倶楽部は参加者は何人ぐらいですか？

回答：

物忘れなどの不安がある人や、認知症予防の取り組みに参加したい人が、身近な場所で地域とつながり、認知機能の維持・改善が出来る場として、地域ボランティアの皆さんとともに開催している福山市の事業の一つです。内容は各包括で考えて開催してます。ひまわり倶楽部は約10人ぐらいの参加者です。

質問：

頭はつらつ教室の周知方法を教えてほしいです。チラシでしょうか？ また、対象者や開催場所もお願いします。

回答：

チラシを作成し、生活支援コーディネーターに頭はつらつ教室の説明を行いました。その後、地域の交流館へ相談、協力をお願いできそうな地域の団体に説明を行いました。その後、地域の回覧板でチラシを回覧してもらったり、サロンや民生委員の会議で周知を行いました。合わせて、包括や居宅介護事業所のケアマネにも周知を行い、相談があった場合や利用者や家族に声をかけていただきました。

受講者の対象は頭はつらつ教室の事前に開催される講座等で「あたまの健康チェック」を受けられた方、認知症予防の取り組みに関心がある方、認知症の不安がある方等です。開催場所は、参加人数や駐車場の有無、毎週同じ時刻に会場が借りれるかも含めて検討した結果、包括内にある会議室で実施しました。

質問：

出かける時は保険など掛けますか？ 小学校に行く際は家族は理解されていますか？

回答：

出かける時の保険は特にかけてません。

ひまわり倶楽部の参加者に小学校へ行くことについて家族の了解を得ているかどうかの確認はしていませんが、参加者へは緊急時の連絡先の確認と包括から緊急時には連絡があることは伝えてもらうようにはしています。

すいしんいんセッション
～ 推進員同士で本音で語ろう！知恵と工夫を寄せあおう！ ～
< 推進員仲間とつながり、一緒に悩み、一緒に一歩！ >
発表者（池原さん）への質問

質問：

生活支援コーディネーターはどこが担っていますか？

回答：

社会福祉協議会へ業務の委託をされています。市内に社会福祉協議会の事務所が5ヵ所あり、全域担当者が1名、学区をブロックに分けて8名、計9名の生活支援コーディネーターがいらっしゃいます。

質問：

頭はつらつ教室の事業をやろうと思ったきっかけは何ですか？

回答：

福山市が認知症予防に効果的な手法を用いて認知症の早期発見・早期支援・認知症予防・地域で認知症の人や家族を支える仕組み作りを目的とし、福山市の推進員がいる全包括のエリアで実施する方針に沿ったためです。

質問：

ひまわり倶楽部で本人の思いをきかれている様子が伝わってきました。認知機能低下がある方もない方も参加されていますか？対象はどのような方でしょうか？

回答：

認知機能の低下がある方もない方も、認知症への不安がある方もそんなに不安がない方も参加されてます。また、認知症予防に取り組みたい方やボランティアとして活躍したい方も参加されてます。